

目次

- 57 巻頭言 中野 雄介
-
- 58 連載「ぼくはこうしてゴリラになった」第16回
ヤクシマザルを追って・・・山極 壽一
-
- 60 連載「今日もOSARU日和」第6回
あなたはだあれ～ 個体識別・・・竹下 景子
-
- 62 連載「生態学者が往く」第12回
タンザニア・ルアハの旅・・・湯本 貴和
-
- 64 連載「野生動物を遺伝子から見る」第7回
素敵な『趣味』を見つける・・・村山 美穂
-
- 66 連載「野生動物のおなかの中の秘密 パート2」第1回
腸内細菌学との出会い～チンチラの腸内細菌のふしぎ～・・・土田 さやか
-
- 68 連載「大型類人猿探訪」第19回
チンパンジーとすごした20年・・・林 美里
-
- 70 連載「ウマ学ことはじめ」第19回
群れを保つためのメンバーの役割分担・・・リングホーファー 萌奈美
-
- 72 連載「自然と芸術」第16回
触感で描く・・・小野塚 佳代
-
- 74 連載「海外生息地調査」第19回
微笑みの国にベニガオザルを求めて・・・豊田 有
-
- 76 連載「動物園・水族館だより」第10回
チンパンジーは映像の森を楽しむか・・・山梨 裕美
-
- 78 連載「環境教育実践」第18回
動物園飼育員と研究者が語る 霊長類学オンライン体験講座・・・赤見 理恵
-
- 80 怪しく光るマコンデ彫刻は何でできている？
金山 麻美
-
- 82 鼻の温度からチンパンジーの感情を探る
佐藤 侑太郎
-
- 84 イベントのご案内・ご寄附のお願い

■表紙 P74「微笑みの国にベニガオザルを求めて」より
撮影:豊田 有(中部大学)

巻頭言

中野 雄介 (中野公認会計士事務所)

大気汚染、森林破壊、人口爆発、地球温暖化など地球環境は悪化の一途を辿っている。日本では少子高齢化のひずみが大きくなり、残業問題や生産性向上に取り組む働き方改革や女性活躍が叫ばれている。国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)では17の目標が掲げられ、産業界でも浸透しつつある。気が付けば企業経営においても事業承継が大きな課題となっている状況だ。地球全体、日本社会、事業経営などの様々な領域で継続することが困難になっており、今まで通りやっていたらいい状況ではなくなっているのだ。

成果と効率を求められ常に変化しなければならぬという強迫観念をもって不安を煽られる世の中は生きづらいが、そうしなければ生き残れない。生物の世界も経済社会も環境の変化に適応したものが生き残っていく。100年以上続く老舗も、全く同じものを提供しているわけではなく、製造工程や趣向を時代に応じて変えており、極端な例では祖業と全く異なる事業を展開している場合もある。

コロナで不要不急なことは制限された。しかしそれは我慢であって、人間の暮らしの中で本当に不要かというところではない。バランスの取れた人間らしい豊かな生活を送るためには程度の差こそあれ必要なものばかりである。

いま、我々は淘汰の時代を生き抜こうとしている。世の中に必要不可欠なものは黙っていても残っていくだろう。しかし、コロナの中で不要不急と言われたようなものは、本当は必要なんだけれども、黙っ

ていけば消えてしまうかもしれない。本当に残したいものは必死になって守り抜かなければ消えてしまう。

雑誌「モンキー」は諸般の事情により一旦休刊となったが、2016年日本モンキーセンター創立60周年を機に復刊されたと聞いている。アカデミックでありながら一般人にも親しみやすい記事となっており、決して研究者だけの広場ではなく外に開かれたオープンなフォーラムだ。日本モンキーセンターも、クラウドファンディング、グッズの製作販売、ライブカメラ、インスタグラムなど、研究施設であると同時に展示施設であることを意識して、できることを前向きに外に開かれた取り組みをしている。これも思いを持った方々が大切に思うものを後世に残そうとする生き残りをかけた生存戦略である。思いがあれば必ず生き残れるとは限らないが、思いがなければ何も始まらない。経営も研究もその点において同じだと思う。皆さんにとって情熱をもって取り組めるものはなんでしょうか？そして継続させたいものは何ですか？



中野 雄介
なかの ゆうすけ

中野公認会計士事務所所長、清友監査法人包括代表。公認会計士・税理士。1969年京都市生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科文化・地域環境学専攻修士課程修了。公益財団法人日本モンキーセンター監事。日本公認会計士協会理事、日本公認会計士協会京滋会会長、一般社団法人事業承継学会常務理事。